

INFORMATION

No.2021.12
2021年7月

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記検査項目におきまして、検査内容の変更をご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。

謹白

記

■変更実施日 2021年9月2日(木) ご依頼分より
報告書変更項目(*印)は、9月7日(火) ご報告分より

■変更項目

検査項目 一覧掲載頁	項目コード	検査項目	検査項目 一覧掲載頁	項目コード	検査項目
—	4777	肺サーファクタント プロテインD (SP-D)	—	—	ヒトパルボウイルスB19DNA 定性
147	4155	サイトメガロウイルス I gG	—	—	アデノウイルスDNA 定性
147	4156	サイトメガロウイルス I gM	—	—	単純ヘルペスウイルスDNA 定性
154	3532	プロプラノロール	—	—	水痘・帯状疱疹ウイルスDNA 定性
—	4859	L-ドーパ	—	2689	サイトメガロウイルスDNA 定性
—	—	セロトニン<血漿>	—	—	ヒトヘルペスウイルス6型 DNA 定性
95	3269	塩基性フェトプロテイン (BFP)	—	—	ヒトヘルペスウイルス7型 DNA 定性
—	—	シアリルLe ^x 抗原 (CSLEX)	—	—	ニューモシスチスカリニ (P. j i r o v e c i i) DNA
—	—	亜硝酸/硝酸イオン	—	—	染色体検査 *
			—	—	白血病キメラ遺伝子検査 (定性) *

※詳細につきましては、次頁以降をご参照ください。



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

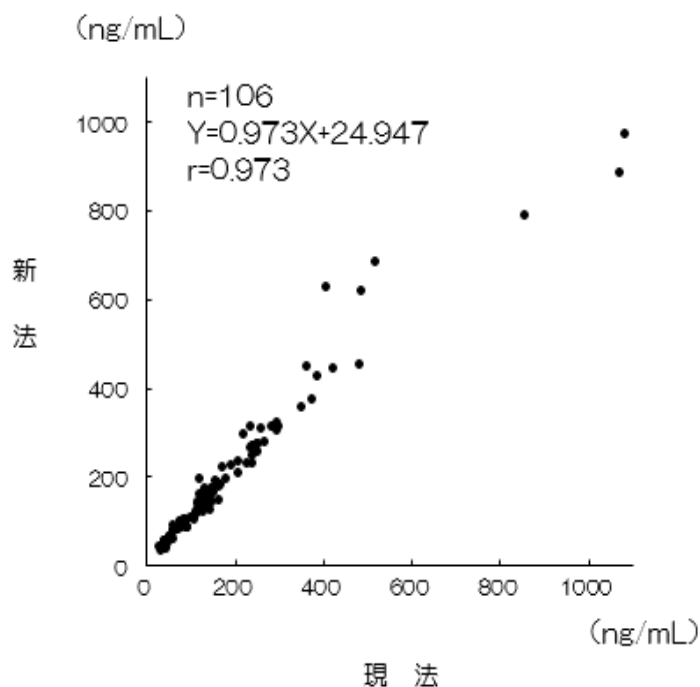
〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1511

●肺サーファクタント プロテインD (SP-D)

全自動測定機器へ搭載可能な試薬へ変更いたします。これに伴い、項目コード、検体量、検査方法、報告範囲等が変更となります。なお、基準値の変更はありません。

検査項目 一覧掲載頁	項目 コード	検査項目	変更箇所	新	現
—	4777	肺サーファク タント プロテインD (SP-D)	項目コード	5553	4777
			項目名称	(変更なし)	肺サーファクタント プロテインD (SP-D)
			報告書名称	SP-D	SP-D
			検体量	血清 0.5mL	血清 0.2mL
			検査方法	CLEIA	EIA
			報告範囲	15.0 未 満 、 15.0 ~ 99900000	17.2以下、17.3~99900000
			参考文献	土居 耕介,他：医学と薬学78 (3)：261~267,2021.	田中 誠仁,他：医学と薬学55 (3)：439~446, 2008.
			JLAC10コード	3F253-0000-023-052	3F253-0000-023-023

▼現法と新法の比較



● サイトメガロウイルス I gG

全自動測定機器へ搭載可能な試薬へ変更いたします。

これに伴い、項目コード、項目名称、検体量、検査方法、単位、結果コード、分画子、基準値、報告範囲、報告桁数、備考欄等が変更となります。

検査項目 一覧掲載頁	項目 コード	検査項目	変更箇所	新	現
147	4155	サイトメガロ ウイルス I gG	項目コード	5547	4155
			項目名称	サイトメガロウイルス IgG[CLIA]	サイトメガロ IgG(EIA)
			検体量	血清 0.5mL	血清 0.2mL
			検査方法	CLIA	EIA
			単位	AU/mL	なし
			結果コード 分画子1 基準値	5548 CMV IgG抗体 6.0未満	※単独コードため結果コード、分画子はありません
			結果コード 分画子2 基準値	5549 判定 (-)	2.0未満 (-) 判定基準：検査項目一覧参照
			報告範囲	6.0未満、6.0~249、250以上	2.0未満、2.0~127、128以上
			報告桁数	有効3、整数8、小数1	有効3、整数5、小数1
			備考欄	下記参照 (判定基準は5頁に記載)	下記参照 (*固相法) *固相法：髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL (冷蔵) 基準値 0.20未満 (-)
			参考文献	熊田 洋高, 他: 医学と薬学72 (6) : 1087~1094, 2015.	厚生省監修微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊: 48~61, 1987.
JLAC10コード	5F194-1431-023-051	5F194-1431-023-023			

● サイトメガロウイルス I gM

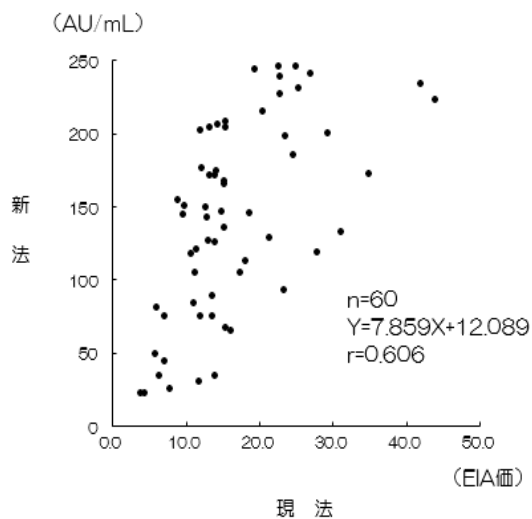
全自動測定機器へ搭載可能な試薬へ変更いたします。

これに伴い、項目コード、項目名称、検体量、検査方法、単位、結果コード、分画子、基準値、報告範囲、報告桁数、備考欄等が変更となります。

検査項目 一覧掲載頁	項目 コード	検査項目	変更箇所	新	現
147	4156	サイトメガロ ウイルス I gM	項目コード	5550	4156
			項目名称	サイトメガロウイルスI gM[CLIA]	サイトメガロI gM(EIA)
			検体量	血清 0.5mL	血清 0.2mL
			検査方法	CLIA	EIA
			単位	Index	なし
			結果コード 分画子1 基準値	5551 CMV I gM抗体 0.85未満	※単独コードため結果コード、分画子はありません
			結果コード 分画子2 基準値	5552 判定 (-)	0.80未満 (-) 判定基準：検査項目一覧参照
			報告範囲	0.10 未満、0.10 ~ 99900000	0.00~99.9
			報告桁数	有効3、整数8、小数2	有効3、整数2、小数2
			備考欄	下記参照 (判定基準は5頁に記載)	下記参照 (*捕捉法) *捕捉法：髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL (冷蔵) 基準値 0.80未満 (-)
			参考文献	熊田 洋高, 他：医学と薬学72 (6) : 1087~1094, 2015.	厚生省監修微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48~61,1987.
			JLAC10コード	5F194-1432-023-051	5F194-1432-023-023

▼現法と新法の比較

【サイトメガロウイルス IgG】

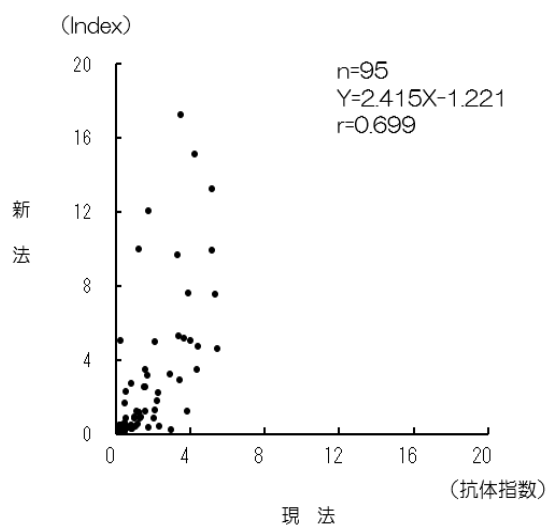


相関一致表

		現法		
		(-)	(±)	(+)
新法	(-)	27	2	0
	(+)	0	1	87

一致率: 95.3% (n=117)

【サイトメガロウイルス IgM】



相関一致表

		現法		
		(-)	(±)	(+)
新法	(-)	68	6	6
	(±)	0	1	1
	(+)	2	2	29

一致率: 85.2% (n=115)

[5547、5550] サイトメガロウイルスの判定基準

判定	IgG(AU/mL)	IgM(Index)
(-)	6.0未満	0.85未満
判定保留		0.85~1.00未満 (※2)
(+)	6.0以上 (※1)	1.00以上

※1) 6.0~15.0 AU/mLの結果値の際には、適切な期間(例:2週間)内に再採取し、再検査をお勧めします。

※2) 判定保留の際には、適切な期間(例:2週間)内に再採取し、再検査をお勧めします。

●プロプラノロール 他5項目

所要日数を見直し、変更いたします。所要日数以外の検査要項は変更ありません。

検査項目 一覧掲載頁	項目コード	検査項目	変更箇所	新	現
154	3532	プロプラノロール	所要日数	5~18日	5~11日
—	4859	L-ドーパ	所要日数	6~19日	6~12日
—	—	セロトニン(血漿)	所要日数	4~8日	4~7日
95	3269	塩基性フェトプロテイン (BFP)	所要日数	3~9日	3~5日
—	—	シアリルLe ^x 抗原 (CSLEX)	所要日数	3~9日	3~7日
—	—	亜硝酸/硝酸イオン	所要日数	4~17日	4~10日

●ヒトパルボウイルスB19DNA 定性 他7項目

適正な検体量に変更いたします。検体量以外の検査要項は変更ありません。

検査項目 一覧掲載頁	項目コード	検査項目	変更箇所	新	現
—	—	ヒトパルボウイルス B19DNA 定性	検体量	血清0.7mL	血清0.5mL
—	—	アデノウイルスDNA 定性	検体量	部分尿0.7mL	部分尿0.5mL
—	—	単純ヘルペスウイルス DNA 定性	検体量	髄液0.7mL 組織50mg	髄液0.5mL 組織5mg
—	—	水痘・帯状疱疹ウイルス DNA 定性	検体量	髄液0.7mL	髄液0.5mL
—	— 2689	サイトメガロウイルス DNA 定性	検体量	髄液0.7mL 組織50mg 部分尿0.7mL	髄液0.5mL 組織5mg 部分尿0.5mL
—	—	ヒトヘルペスウイルス 6型DNA 定性	検体量	血清0.7mL 髄液0.7mL 組織50mg	血清0.5mL 髄液0.5mL 組織5mg
—	—	ヒトヘルペスウイルス 7型DNA 定性	検体量	血清0.7mL 髄液0.7mL 組織50mg	血清0.5mL 髄液0.5mL 組織5mg
—	—	ニューモシスチスカリニ (P. jiroveci i) DNA	検体量	肺胞洗浄液0.7mL 胸水0.7mL	肺胞洗浄液0.5mL 胸水0.5mL

●染色体検査報告書

染色体検査報告書を変更いたします。これに伴い、フォントがMS明朝からMSゴシックに変更となります。
また、押印欄を削除し、検査者名と責任者名を印字いたします。なお、報告内容に変更はありません。

▼報告書比較

<新報告書見本>

<現報告書見本>

SIRL 染色体検査報告書 20-12-03
0030-00-03000-02920 発行 02 年 12 月 03 日

病歴名 117-A16 LUSTER HP 病 科 血液腫瘍 (入院済) 提出医 野村 先生
氏名 野村 12 月 28 日 年齢 4567891011 性別 男 43F
病 科 血液腫瘍 検体番号 000017
病歴 野村 先生 30 才 検査番号 4SSL000100
臨床診断名 検査番号 003-4SSL0001 採日 03 月 18 日 発熱 月 日

検査項目: BCR-ABL1 (FISH) Case ID L200C03-4L0001
検査結果
100細胞中、融合シグナルは 0.0%でした。

検出パターン
正常間期核
融合

検査方法
プローブ: BCR:22q11.2/ASS-ABL1:9q34.1 (Abbott Molecular Inc.)
分析対象: 1 個と認識できる間期核 100細胞以上
参照範囲: 健康人の偽陽性率 1.0%以下 (95%信頼範囲)

検査者 高森英一 責任者 瀧口正隆
標本№: L200C03-4B0002
報告 02 年 12 月 27 日 &1

SIRL 株式会社 エスアルエル
高森英一 代表取締役社長
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
TEL: 03-646-5911 FAX: 03-646-5912

SIRL 染色体検査報告書 20-12-03
0030-00-03000-02920 発行 02 年 12 月 03 日

病歴名 117-A16 LUSTER HP 病 科 血液腫瘍 (入院済) 提出医 野村 先生
氏名 野村 12 月 28 日 年齢 4567891011 性別 男 43F
病 科 血液腫瘍 検体番号 000017
病歴 野村 先生 30 才 検査番号 4SSL000100
臨床診断名 検査番号 003-4SSL0001 採日 03 月 18 日 発熱 月 日

検査項目: BCR-ABL1 (FISH) Case ID L200C03-4L0001
検査結果
100細胞中、融合シグナルは 0.0%でした。

検出パターン
正常間期核
融合

検査方法
プローブ: BCR:22q11.2/ASS-ABL1:9q34.1 (Abbott Molecular Inc.)
分析対象: 1 個と認識できる間期核 100細胞以上
参照範囲: 健康人の偽陽性率 1.0%以下 (95%信頼範囲)

検査者 高森 責任者 瀧口
標本№: L200C03-4B0002
報告 02 年 12 月 27 日 &1

SIRL 株式会社 エスアルエル
高森英一 代表取締役社長
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
TEL: 03-646-5911 FAX: 03-646-5912

●染色体検査報告書

<新報告書見本>

SIRIL 染色体検査報告書 20-12-03 0030-00-03000-02920 発行 02年 12月 03日

病歴名 117-118 LUSTER HP 院 科 名 産科 (検体所属) 提出医 317# 先生
氏 名 子112 124ゆん- 院 科 名 産科 4567891011
姓 名 子12 124ゆん- 院 科 名 産科 42F
性別 M 年齢 30才 検体No. 000002 検体No. 4SSE000200
臨床部 新名 検体番号 003-4SSE0002 検定 11月 14日 検定 月 日

【検査項目】ケイG BAND-MDS Case ID E200C03-4E0002
【検査方法】G-band バンドレベル: 300~550
【培養方法】PHA無添加 24・48時間培養
【検査所見】
(核型)
46,XY[20]
(分析) [細胞数]
46,XY [20]

【総分析細胞数】20
【検査結果】染色体異常は認められませんでした。(正常男性核型)
【検査コメント】

染色体検査で用いられる代表的な記号と略語、核型記載は右記URLをご参照下さい。

検査者 春川純一 責任者 瀧口正隆
検体No. E200C03-4W0002

発行 02年 12月 07日

SIRIL 株式会社 エス・アイ・エル
〒117-0051 東京都荒川区西日暮里1-1-1
TEL (042) 646-5911 和研かおり

<現報告書見本>

SIRIL 染色体検査報告書 20-12-03 0030-00-03000-02920 発行 02年 12月 03日

病歴名 117-118 LUSTER HP 院 科 名 産科 (検体所属) 提出医 317# 先生
氏 名 子112 124ゆん- 院 科 名 産科 4567891011
姓 名 子12 124ゆん- 院 科 名 産科 42F
性別 M 年齢 30才 検体No. 000002 検体No. 4SSE000200
臨床部 新名 検体番号 003-4SSE0002 検定 11月 14日 検定 月 日

【検査項目】ケイG BAND-MDS Case ID E200C03-4E0002
【検査方法】G-band バンドレベル: 300~550
【培養方法】PHA無添加 24・48時間培養
【検査所見】
(核型)
46,XY[20]
(分析) [細胞数]
46,XY [20]

【総分析細胞数】20
【検査結果】染色体異常は認められませんでした。(正常男性核型)
【検査コメント】

染色体検査で用いられる代表的な記号と略語、核型記載は右記URLをご参照下さい。

検査者 春川 瀧口
検体No. E200C03-4W0002

発行 02年 12月 07日

SIRIL 株式会社 エス・アイ・エル
〒117-0051 東京都荒川区西日暮里1-1-1
TEL (042) 646-5911 和研かおり

<新報告書見本>

SIRIL 染色体検査報告書(中間報告書)FISH 20-12-03 0030-00-03000-02920

病歴名 117-118 LUSTER HP 院 科 名 産科 (検体所属) 提出医 317# 先生 発行 02年 12月 03日
氏 名 子12ゆん 院 科 名 産科 4567891011
姓 名 子12ゆん 院 科 名 産科 42F
性別 F 年齢 30才 検体No. 000108 検体No. 4SS0000200
臨床部 新名 検体番号 003-4SS0000200 検定 12月 03日

【検査項目】3p24 G-BAND-FISH 妊娠週数 週 日
【検査方法】FISH
【使用アプローブ】AneuVysion・DNA Probe kit (No.13・No.18・No.21・X・Y)
プローブ販売元: Abbott Molecular Inc.

【検査所見】
(シグナル検出状況) 染色体番号 13 18 21 X Y 細胞数
シグナル 2 2 2 2 2

【総分析細胞数】各アプローブについて 100 細胞
【検査コメント】
13番、18番、21番、X染色体のシグナル数は正常範囲でした。

<注意事項>
羊水FISHは13番、18番、21番染色体およびX、Y染色体の蛍光プローブを用い異数性の有無を判定いたします。この方法は、短時間で結果が得られますが使用プローブ以外の異数性、構造異常については判定できません。検査結果の解釈については、必ず羊水染色体G-bandで最終判定ください。

染色体検査で用いられる代表的な記号と略語、核型記載は右記URLをご参照下さい。

検査者 本山サチエ 責任者 瀧口正隆
検査者 高野貴子 検体No. D200C03-4D0002

発行 02年 12月 07日

SIRIL 株式会社 エス・アイ・エル
〒117-0051 東京都荒川区西日暮里1-1-1
TEL (042) 646-5911 和研かおり

<現報告書見本>

SIRIL 染色体検査報告書(中間報告書)FISH 20-12-03 0030-00-03000-02920

病歴名 117-118 LUSTER HP 院 科 名 産科 (検体所属) 提出医 317# 先生 発行 02年 12月 03日
氏 名 子12ゆん 院 科 名 産科 4567891011
姓 名 子12ゆん 院 科 名 産科 42F
性別 F 年齢 30才 検体No. 000108 検体No. 4SS0000200
臨床部 新名 検体番号 003-4SS0000200 検定 12月 03日

【検査項目】3p24 G-BAND-FISH 妊娠週数 週 日
【検査方法】FISH
【使用アプローブ】AneuVysion・DNA Probe kit (No.13・No.18・No.21・X・Y)
プローブ販売元: Abbott Molecular Inc.

【検査所見】
(シグナル検出状況) 染色体番号 13 18 21 X Y 細胞数
シグナル 2 2 2 2 2

【総分析細胞数】各アプローブについて 100 細胞
【検査コメント】
13番、18番、21番、X染色体のシグナル数は正常範囲でした。

<注意事項>
羊水FISHは13番、18番、21番染色体およびX、Y染色体の蛍光プローブを用い異数性の有無を判定いたします。この方法は、短時間で結果が得られますが使用プローブ以外の異数性、構造異常については判定できません。検査結果の解釈については、必ず羊水染色体G-bandで最終判定ください。

染色体検査で用いられる代表的な記号と略語、核型記載は右記URLをご参照下さい。

検査者 本山 瀧口 高野

発行 02年 12月 07日

SIRIL 株式会社 エス・アイ・エル
〒117-0051 東京都荒川区西日暮里1-1-1
TEL (042) 646-5911 和研かおり

●白血病キメラ遺伝子検査（定性） 13項目

報告書フォーマットを変更いたします。用紙サイズがA5からA4となります。なお、報告内容は変更ありません。

検査項目	検査項目	検査項目
Major BCR-ABL1 mRNA定性	RUNX1-RUNX1T1 mRNA定性	KMT2A-MLLT3 mRNA定性
minor BCR-ABL1 mRNA定性	RUNX1-MECOM mRNA定性	KMT2A-MLLT1 mRNA定性
TCF3-PBX1 mRNA定性	ETV6-RUNX1 mRNA定性	DEK-NUP214 mRNA定性
PML-RARA mRNA定性	KMT2A-AFF1 mRNA定性	
CBFB-MYH11 mRNA定性	KMT2A-AFDN mRNA定性	

▼報告書比較

＜新報告書見本＞

＜現報告書見本＞

検査項目 MAJ BCR-ABL1 RT
結果 BCR-ABL1 mRNAを検出しました。

増幅バンドサイズ
A: BCR-ABL1 mRNA 371,446 bp
B: ACTB mRNA 279 bp

＜方法＞
RNA抽出
cDNA合成
Nested PCR
電気泳動
写真撮影
判定

検査項目 MAJ BCR-ABL1 RT
結果 BCR-ABL1 mRNAを検出しました。

増幅バンドサイズ
A: BCR-ABL1 mRNA 371,446 bp
B: ACTB mRNA 279 bp

＜方法＞
RNA抽出
cDNA合成
Nested PCR
電気泳動
写真撮影
判定